



イベント開催に向け知恵を絞るメンバー



倉吉市の古い町並みに再生のライトを当て、その価値を認識してもらいたいと、若者らが立ち上がった。企画したイベントの名前は「光速未来の3日間」。倉吉市宮川町のシビックセンターたからやで22日から24日までの午後6時から同9時まで、光り輝くイベントスペースが現れる。

古い町並みにスポット

光り輝く おもしろ 倉吉

ショートムービー上映やクラブ出現

シビックセンターたからやは、市民に活用されつつあるものの、一度閉鎖した店舗を再利用したスペースを、夜はhibiをテーマとして、このため、実験的に3日間イベントを開催。アートスペースやクラブとして有効活用できる場所があることを知るメンバー。同市出身の映像作家、波田野州正さん（東京都在住）のショートムービー2本が上映されるほか、夜の空間の中で光や音楽、スポットライトで照らされた絵画などを鑑賞してgoon。

同所で今夏開いたお化け屋敷の実行委員 長、岩本直也さん(25)▽倉吉文化団体協議会 連合展「砂丘のふもと」のプロジェクトを率いる。回所では、実験的に3日間イベントを開催。アートスペースやクラブとして有効活用できる場所があることを知るメンバー。同市出身の映像作家、波田野州正さん（東京都在住）のショートムービー2本が上映されるほか、夜の空間の中で光や音楽、スポットライトで照らされた絵画などを鑑賞してgoon。

1、山根大和さん(35)▽山陰KAMIあかりで「KAMI像」がミカタチ」を制作した。山根大和さん(35)▽来年度の山陰KAMIあかりの発行委員長を務める森本里美さん(25)の県中部の多彩な才能を持った若者が知恵を寄せ合い、イベントに取り組み、個性的なホスターやチケットのデザインは、宮本勇太さん(25)が手掛けた。

22日 は「ねぎナイト」と題し、地元産の「食」と地元アーティストの「アート」を紹介。寺浦町産の自家焙、北栄町産のねぎ、おやぎ、コロケ天など地元産の食や、北栄ワインのホットワイン、コーヒー、カフェオレなどが用意される。

23日 は「ロックンナイト」。蓋が作るまゆ「ロクン」の巨大なオブジェが登場し、光り輝く一晩だけのクラブが出現する。

24日 は「ホリークロス」。恋人たちの間で伝説となっている、10月に行われた山陰KAMIあかりの人気のトンネルも登場する。

イベントを統括するプランナーの麻田雄一さん(29)は「中高生でも楽しめるイベント。会場にも、かつおくんで面白い空間があると感じてもらいたい」と話している。

入場無料 飲食用の前売チケット1000円(12000円分)も販売している。問い合わせは電話08568(297991)、NPO法人未来家守中本部、光澤さんへ。

編集室

○「コクーンナイト」には、サウンドコーディネーターで倉吉市在住のDJ MICKEYも登場。ダンスTUBEを主催した「鳥取HAKKA」も、若者たちを盛り上げようとイベントにかかわる。今回のイベントでは、県中部に在住、あるいは出身者の才能の発掘に意欲的に取り組んでいる。この3日間で、さまざまなジャンルの地元アーティストたちの才能を目の当たりにすれば、町を誇りに思う気持ちが高まるだろう。もちろん、若者だけでなく、誰もが町を愛するきっかけになってくれればいい。若者たちのアイデアで生まれた3日間が、どんな足跡を残すか楽しみだ。(中部本社・八幡祥代)

22日~24日 光速未来の3日間

HELLO

イベントではスポットライトで照らされた絵画が楽しめる

